

NSG

GROUP

NSG グループ

2022年3月期 第3四半期決算報告

(2021年4月1日～ 2021年12月31日)

日本板硝子株式会社
執行役常務 CFO
楠瀬 玲子

2022年2月3日

目次

1. 2022年3月期 第3四半期 決算概要
2. 2022年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗
4. まとめ

1. 2022年3月期 第3四半期 決算概要

連結損益計算書

自動車用ガラス事業の不調を建築用ガラス事業および高機能ガラス事業でカバー、黒字を継続。
持分法による投資損益も貢献

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異
売上高	1,359	1,523	165	3,574	4,430	856
営業利益	48	18	△ 30	80	145	65
営業利益率	3.5%	1.2%	△ 2.3pt	2.2%	3.3%	+1.1pt
個別開示項目 (COVID-19関連)	△ 12	-	12	△ 140	-	140
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	36	18	△ 18	△ 60	145	205
個別開示項目 (その他)	10	△ 2	△ 12	2	44	42
個別開示項目後営業利益 (△損失)	46	17	△ 29	△ 58	189	247
金融費用 (純額)	△ 21	△ 32	△ 11	△ 75	△ 90	△ 15
持分法による投資損益	10	22	12	8	56	47
税引前利益 (△損失)	35	7	△ 28	△ 125	154	279
当期利益 (△損失)	37	10	△ 27	△ 135	105	240
純利益 (△損失)*	34	0	△ 33	△ 139	86	226
EBITDA	135	111	△ 24	323	422	99

10-12月期は自動車用ガラス事業で減収減益。累計では自動車用ガラス事業の減益を建築用ガラス事業、高機能ガラス事業の増益がカバー、グループ全体で営業黒字を継続

【営業利益(事業別) : 前年比】

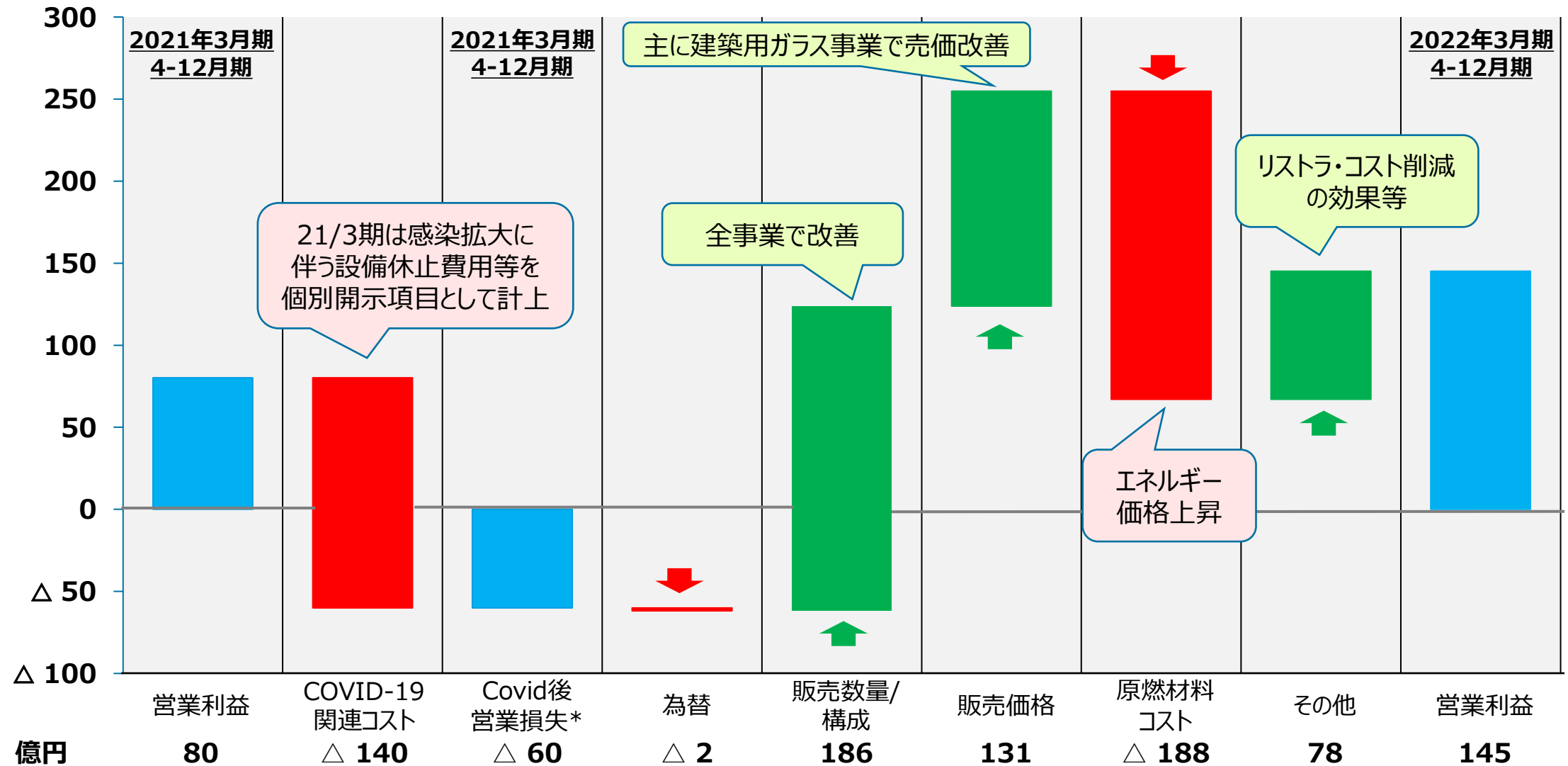
(億円)	Q3	累計
建築用	+ 25	+ 89
自動車用	△ 62	△ 49
高機能	+ 1	+ 33
その他	+ 6	△ 8
グループ全体	△ 30	+ 65

バッテリーセパレーター事業譲渡益等

ブラジル等持分法適用会社の業績回復

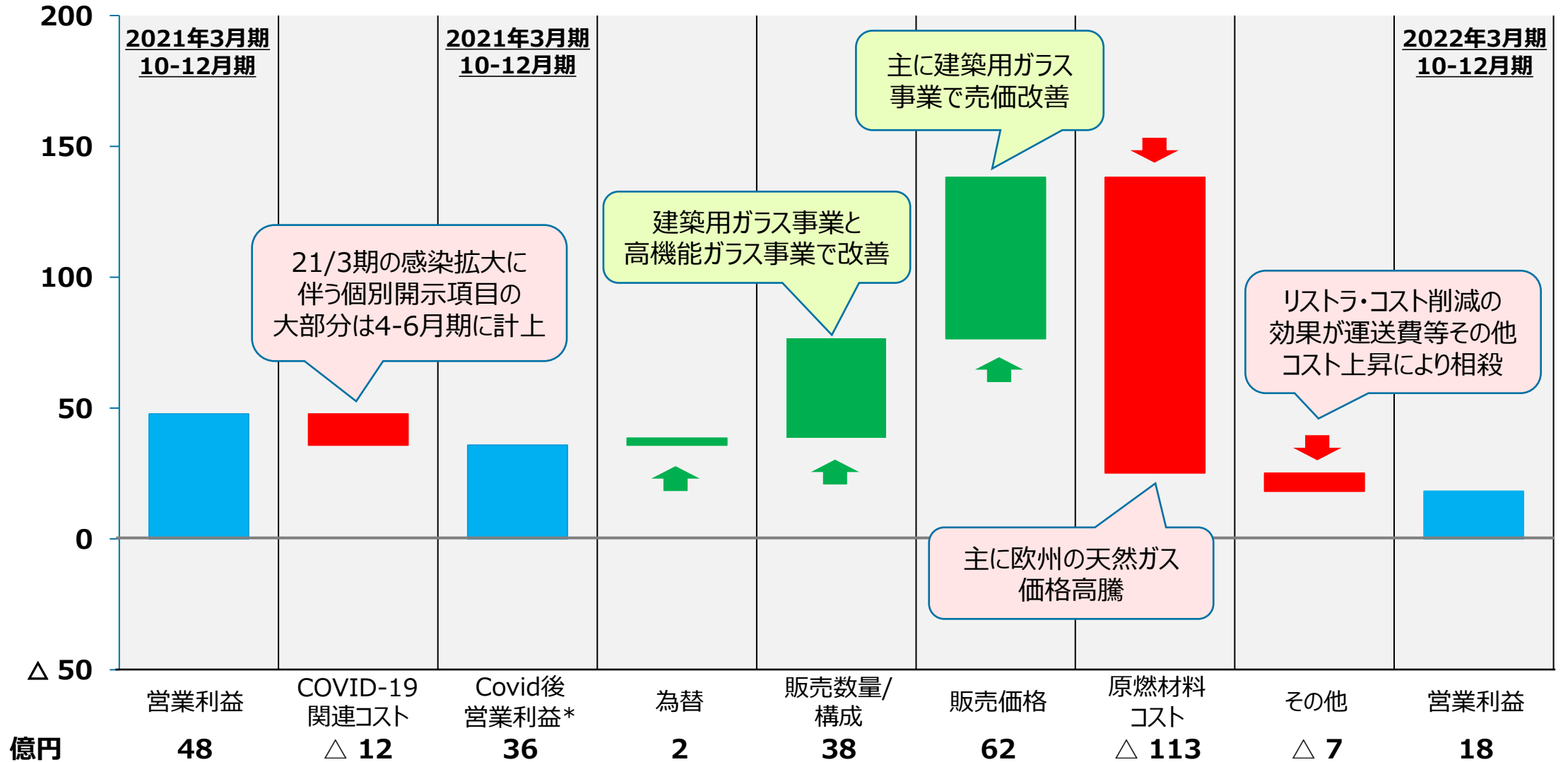
営業利益差異分析 (4-12月期累計)

需要の回復に加え、価格改善、コスト削減により原燃材料コスト増加を吸収し、205億円改善



営業利益差異分析 (10-12月期)

価格改善、コスト削減を継続するが、原燃材料やその他コスト増加の影響を受け、18億円減益

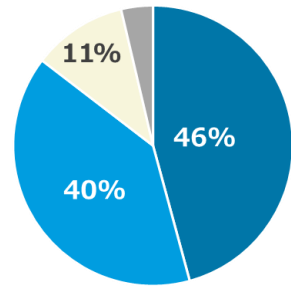


エネルギーコスト内訳

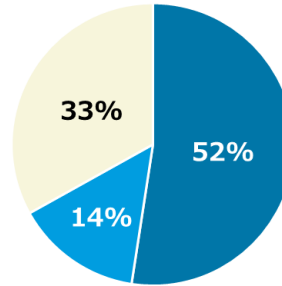
2021年3月期（12か月間）対比2022年3月期累計（9か月間）のエネルギーコストは
 コロナ禍からの回復による生産量増とエネルギー価格高騰により、グループ全体で+34%、天然ガスは+48%。
 特にエネルギーコストに占める天然ガスの割合は価格高騰により、46%⇒50%に上昇。
 また地域別では欧州、事業別では建築用ガラス事業が天然ガス使用量が大きくコスト上昇の影響を受け易い

2021年3月期（12か月）

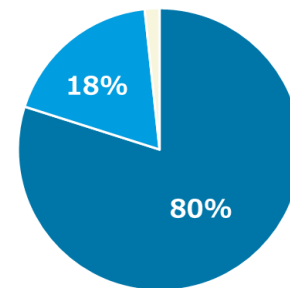
グループ全体（エネルギー別）



天然ガスグループ全体（地域別）



天然ガスグループ全体（事業別）

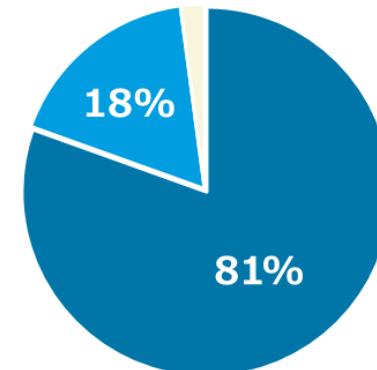
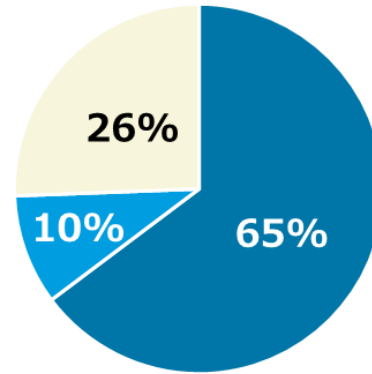
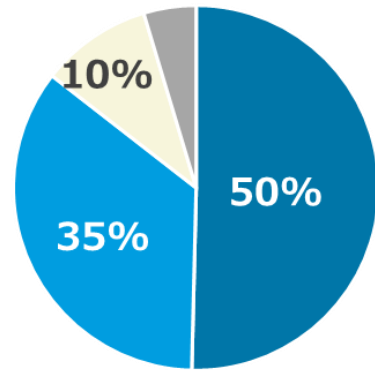


コスト増

+34%、天然ガス+48%

欧州+83%

建築用+50%



■ 天然ガス ■ 電気 ■ 重油 ■ その他

■ 欧州 ■ アジア ■ 米州

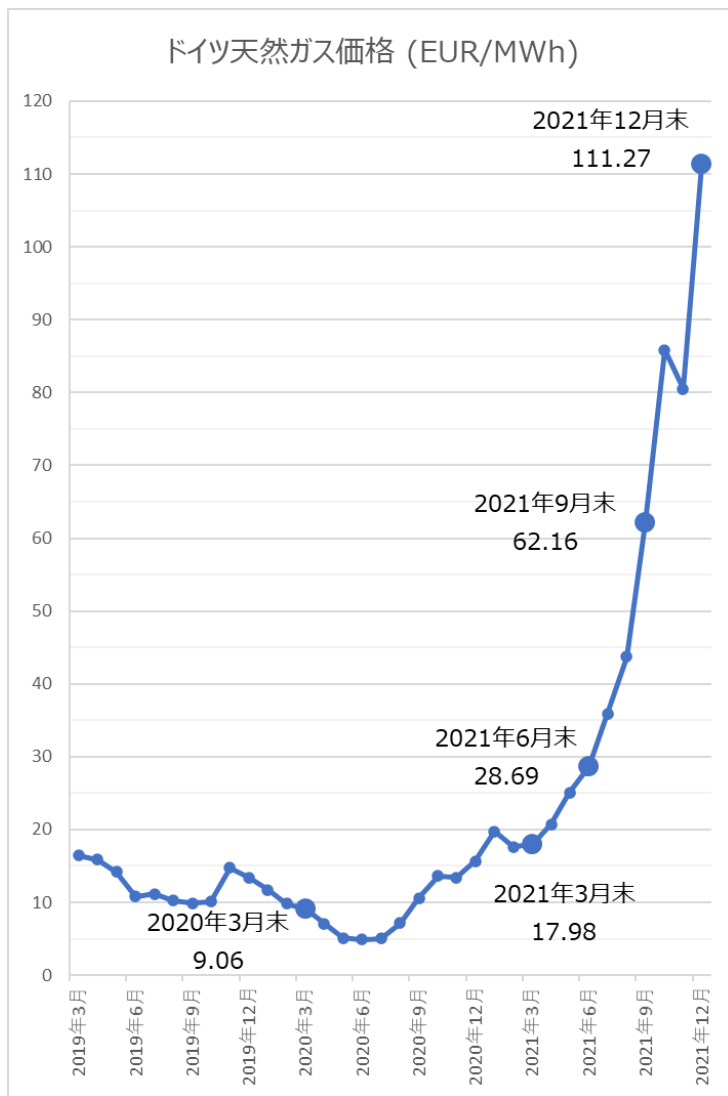
■ 建築用 ■ 自動車用 ■ 高機能

2022年3月期第3四半期累計（9か月）

エネルギー価格の推移

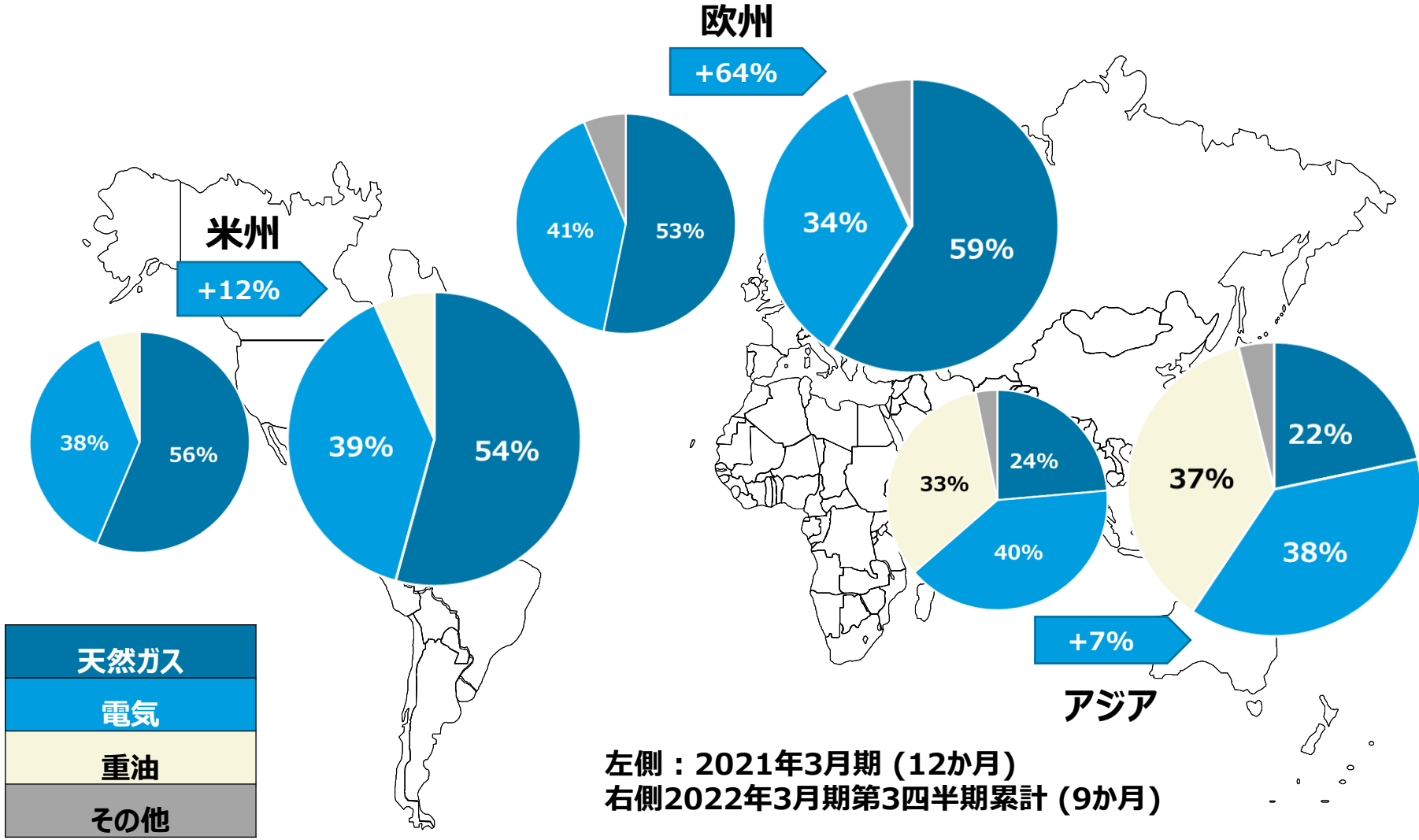
ドイツの天然ガス価格：2021年12月末は3月末対比6.2倍に急騰。

日本の重油価格：2021年12月末は3月末対比42%上昇



エネルギーコスト内訳 (地域別)

天然ガス価格の急騰は欧州、重油価格の上昇はアジアのエネルギーコストに大きな影響を与える



連結貸借対照表

純利益の計上等により自己資本比率が改善、11%超まで回復

(億円)	2021年 3月末	2021年 12月末	増減	
資産合計	8,250	8,588	339	
非流動資産	5,750	5,973	224	持分法で会計処理される投資、 デリバティブ金融資産の増加
流動資産	2,500	2,615	115	棚卸資産、デリバティブ金融資産 の増加
負債合計	7,452	7,407	△ 45	
流動負債	2,878	3,006	128	長期借入金から1年以内借入金 にシフト、買掛債務の減少
非流動負債	4,574	4,401	△ 173	
資本合計	798	1,181	384	
親会社の所有者に帰属する持分	629	972	343	純利益の計上、エネルギーヘッジの 評価益、円安の影響により改善、 自己資本比率11%超まで回復
自己資本比率 (%)	7.6%	11.3%	+3.7pt	
ネット借入	4,117	4,076	△ 42	主にデリバティブ金融資産の増加 による

連結キャッシュ・フロー計算書

利益改善、キャッシュ管理活動の継続に加え、事業譲渡収入もあり、累計のフリー・キャッシュ・フローは前年同期から大きく改善し、プラス。通期での黒字を目指し、順調に進捗

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期累計 (9か月)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	125	67	△ 58	47	211	164
(うち、運転資本の増減)	20	0	△ 20	△ 46	△ 87	△ 41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 69	△ 42	26	△ 333	△ 201	132
(うち、有形固定資産の取得)	△ 78	△ 57	21	△ 305	△ 260	45
フリー・キャッシュ・フロー	56	24	△ 32	△ 286	11	296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	△ 1	26	283	△ 120	△ 402
現金及び現金同等物の増減	30	23	△ 6	△ 3	△ 109	△ 106
現金及び現金同等物 期末残高				413	446	32

利益改善やキャッシュ管理の徹底により、前年同期から大幅に改善

自動車用ガラス事業で棚卸資産増加

バッテリーセパレーター事業譲渡収入 (62億円)

前年同期から大幅に改善、累計でもプラス

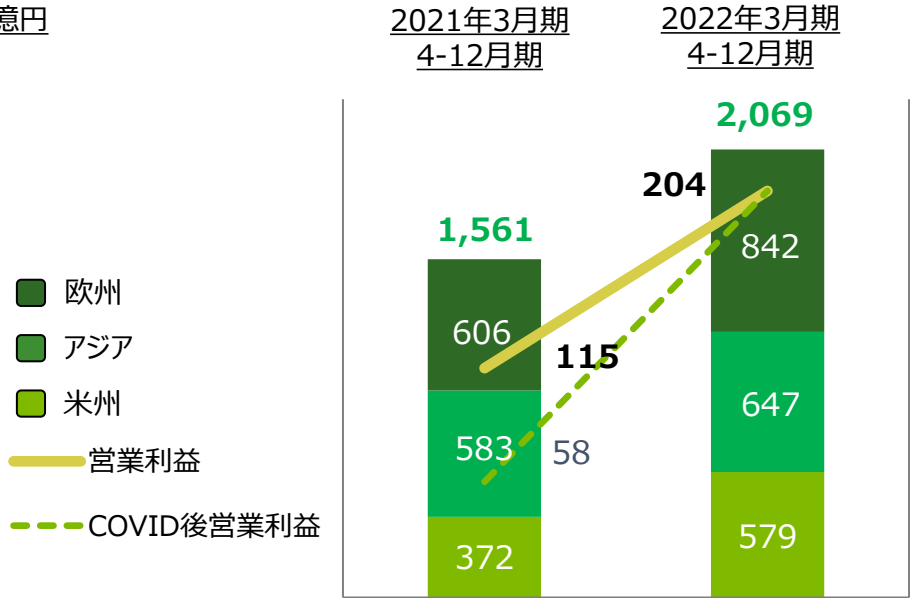
セグメント情報

(億円)	2020年3月期 4-12月期			2021年3月期 4-12月期				2022年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	COVID後* 営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	1,801	43%	140	1,561	44%	115	58	2,069	47%	204	508	89
欧州	663	16%		606	17%			842	19%		236	
アジア	717	17%		583	16%			647	15%		64	
米州	421	10%		372	10%			579	13%		208	
自動車用ガラス事業	2,146	50%	53	1,736	49%	△ 11	△ 94	2,033	46%	△ 59	297	△ 49
欧州	907	21%		721	20%			864	20%		143	
アジア	511	12%		434	12%			444	10%		10	
米州	728	17%		581	16%			725	16%		144	
高機能ガラス事業	302	7%	54	266	7%	45	43	308	7%	78	42	33
欧州	51	1%		46	1%			59	1%		13	
アジア	240	6%		212	6%			240	5%		27	
米州	11	0%		8	0%			9	0%		1	
その他	9	0%	△ 67	11	0%	△ 69	△ 67	20	0%	△ 77	10	△ 8
合計	4,258	100%	180	3,574	100%	80	△ 60	4,430	100%	145	856	65

建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

全地域で堅調な需要により大幅な増収を継続。エネルギー価格高騰の影響を受けるが価格改善およびコスト削減により軽減し、大幅な増益を継続、2020年3月期を上回る

億円



欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・減益)

- 供給能力を上回る需要により販売数量および価格が上昇
- 10-12月期は、引き続き価格改善、安定した操業やコスト削減で軽減したが、原燃材料費や輸送コストの急激な上昇に追いつかず、収益性が低下

アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- 日本の販売数量および価格が回復、日本以外でも好調を維持
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

米州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

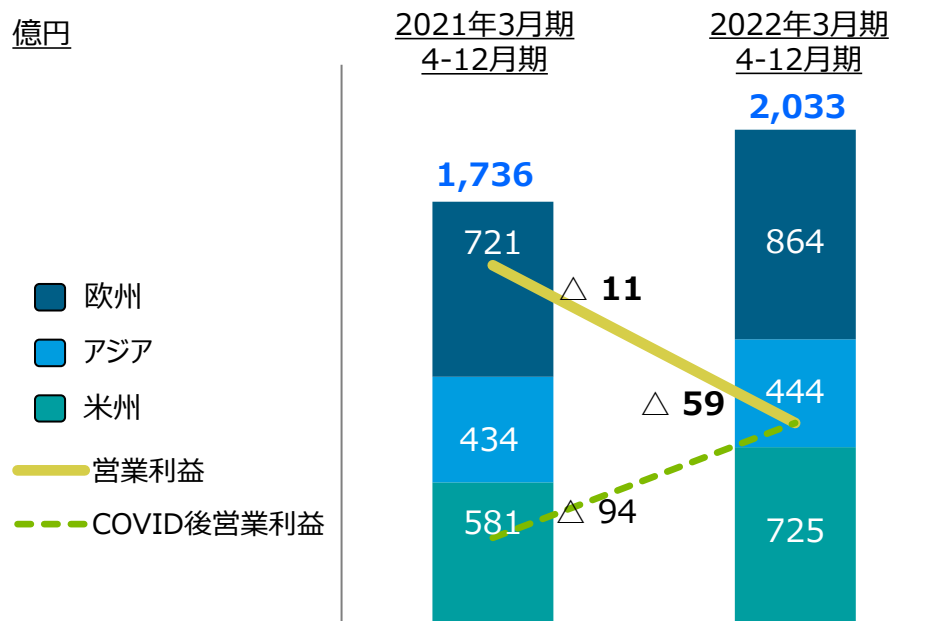
- 北米は、フロート窯の定期修繕と輸送コンテナ不足により出荷に多少の制約があるが、販売数量は増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続

(億円)	累計(9か月)	10-12月期(3か月)				累計(9か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異	
売上高	1,801	570	748	178	1,561	2,069	508	
欧州	663	224	293	69	606	842	236	
アジア	717	205	245	40	583	647	64	
米州	421	141	210	69	372	579	208	
営業利益	140	42	68	25	115	204	89	
COVID後営業利益*	140	39	68	29	58	204	146	

自動車用ガラス事業 (累計：増収・減益 10-12月期：減収・減益) NSG GROUP

10-12月期は部品不足による自動車生産制約の影響を受け減収。
 原燃材料費高騰の影響を受け、コスト削減努力にもかかわらず減益となり、累計でも減益

億円



欧州 (累計：増収・減益 10-12月期：減収・減益)
 アジア (累計：増収・増益 10-12月期：減収・減益)
 米州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・減益)

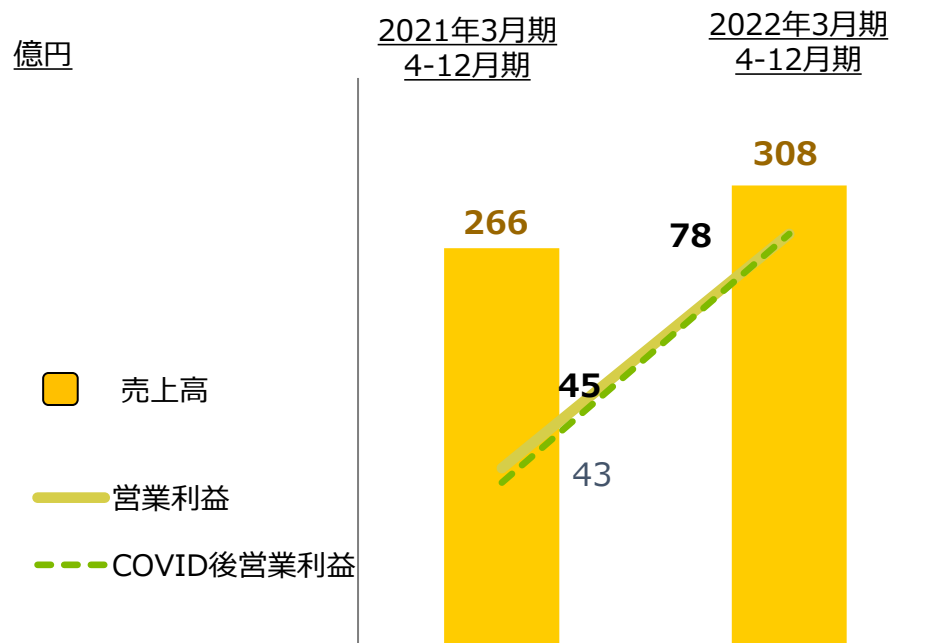
- 10-12月期は、半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約の影響を受け、欧州、日本を含むアジアで販売数量が減少
- 原燃料コスト高騰の影響もあり、コスト削減努力にもかかわらず10-12月期は全地域で減益、累計でも、全体として減益

(億円)	累計(9か月)	10-12月期(3か月)				累計(9か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異	
売上高	2,146	683	681	△ 2	1,736	2,033	297	
欧州	907	288	273	△ 15	721	864	143	
アジア	511	176	164	△ 12	434	444	10	
米州	728	219	244	25	581	725	144	
営業利益	53	13	△ 49	△ 62	△ 11	△ 59	△ 49	
COVID後営業利益*	53	5	△ 49	△ 54	△ 94	△ 59	35	

高機能ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

引き続きCOVID-19の影響があった前年同期から事業環境が改善、増収増益を継続
(9月以降は売却したバッテリーセパレーター除く)



高機能ガラス事業

- ファインガラスは、継続的なコスト削減による事業基盤の強化や売上構成の改善により業績は改善
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けにプリンター需要が引き続き増加
- グラスコードは中国を中心に需要が堅調。メタシャイン® は化粧品向け市場で需要回復の兆し

(億円)	累計(9か月)	10-12月期(3か月)				累計(9か月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	
売上高	302	101	91	△ 10	266	308	42	
営業利益	54	20	21	1	45	78	33	
COVID後営業利益*	54	21	21	0	43	78	35	

2. 2022年3月期 業績予想について

2022年3月期業績予想の前提

<p>グループ</p>	<p>第3四半期までの実績を踏まえ売上高は上方修正 自動車生産の状況、原燃材料価格高騰を勘案し、営業利益は下方修正 持分法による投資損益の好調に支えられ、当期利益と純利益は据え置き、 RP24の重点施策「財務基盤の回復」を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー価格高騰等による投入コスト増は継続見込 自動車用ガラス事業等不透明な事業環境が継続 持分法による投資損益は好調
<p>建築用ガラス</p>	<p>良好な需給環境が継続するが、欧州を中心にエネルギー価格高騰の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧州：需給引締めを受けた価格上昇は継続、天然ガス価格高騰等で収益性は低下 アジア：日本の数量および価格も回復基調にあり、好調継続 北米：経済活動再開に伴い域内市場は好調 南米：タイトな需給環境が継続 太陽電池パネル用ガラス：数量増加見込
<p>自動車用ガラス</p>	<p>自動車需要は堅調だが、半導体等部品不足と原燃材料費高騰の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 全地域で強い自動車需要と在庫逼迫感は継続。 半導体等部品不足の解消タイミングは不透明感が依然継続 原燃材料費高騰の影響を追加コスト削減により軽減、損益改善を目指す
<p>高機能ガラス</p>	<p>全体として事業環境の改善が継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ファインガラスは、売上構成の改善と継続的なコスト削減が貢献 プリンター用レンズは当面在宅勤務による需要増加の恩恵が続く

2022年3月期通期業績予想

売上高を上方修正。自動車生産の状況、原燃材料価格高騰を踏まえ営業利益は下方修正。持分法による投資損益の好調に支えられ、当期利益と純利益は据え置き、RP24の重点施策「財務基盤の回復」を引き続き推進

(億円)	2022年3月期 Q3累計実績	2022年3月期 通期予想 (前回)	2022年3月期 通期予想 (今回)	2021年3月期 通期実績
売上高	4,430	5,600	5,900	4,992
営業利益	145	240	200	131
COVID関連個別開示項目後 営業利益	145	240	200	△ 30
個別開示項目（その他）	44	50	40	△ 53
個別開示項目後営業利益	189	290	240	△ 83
金融費用（純額）	△ 90	△ 130	△ 130	△ 110
持分法による投資損益	56	30	70	21
税引前利益	154	190	180	△ 172
当期利益	105	120	120	△ 163
純利益*	86	100	100	△ 169

*親会社の所有者に帰属する当期利益

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

RP24に基づき、持続的な成長が可能な事業体質を目指して主要施策を実行中。
東証プライム市場への移行決定済み

3つの改革

コスト構造改革

- ・ 人員削減：欧米の自動車用ガラス事業を中心に拠点、製造ラインを統廃合、22/3期累計で約800人を削減（20/3期比95億円削減）、21/3期と合わせて2,300人超の削減（22/3期末までに同130億円削減の見込み）（退職コストは21/3期に引当済）
- ・ コスト削減：「改革・革新」活動を通じた直接費低減を推進中、これまで35億円削減し、期末までに43億円削減の見込み
- ・ 自動車用ガラス事業における約32億円の追加コスト削減を実施

事業構造改革

- ・ 米国、ベトナム 太陽電池パネル用ガラスが収益寄与と同時にCO2削減による地球環境の保護に貢献
- ・ アルゼンチン新フロート窯建設は、23/3期の早い段階で本格稼働開始を目指して順調に進捗
- ・ ポーランドで風力発電による再生可能電力の購入契約を締結、電力価格影響の軽減とともにCO2削減に貢献



企業風土改革

- ・ 「インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)」：各事業部、地域、各部門で女性管理職比率上昇目標を設定しグローバルで推進

2つの重点施策

財務基盤の回復 (2022年3月期 4-12月期実績)

- ・ 黒字を継続。純損益は前年同期から約230億円の大規模改善、自己資本比率も11%超まで回復
- ・ 2021年12月末現預金残高536億円、未使用融資枠805億円

高収益事業へのポートフォリオ転換

- ・ 高弾性・高強度ガラスファイバー「MAGNAVI®」を新開発、脱炭素社会を背景に伸びるFRP (Fiber Reinforced Plastics：繊維強化プラスチック) 等複合材市場での新たなソリューションを目指す



4. まとめ

まとめ

1. 2022年3月期 第3四半期決算

- 自動車生産制約、原燃材料価格高騰の影響を価格改善、コスト削減で軽減
- 自動車用ガラス事業の不調を建築用ガラス事業および高機能ガラス事業でカバー、黒字を継続
- 持分法による投資損益が貢献
- 事業業績等により自己資本、キャッシュ・フローもさらに改善

2. 2022年3月期 通期業績予想

- 売上高を上方修正、営業利益は下方修正。
持分法による投資損益が好調で当期利益と純利益は据え置き
- 建築ガラス事業は良好な需給環境が継続するが、欧州を中心にエネルギー価格高騰の影響を受ける
- 自動車用ガラス事業は半導体等部品不足と原燃材料価格高騰の影響が継続

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

- コスト構造改革：人員削減およびコスト削減が進捗
- 事業構造改革：アルゼンチンにおける新フロート窯建設は、順調に進捗
ポーランドで風力発電による再生可能電力の購入契約を締結
- 事業ポートフォリオ変革：高弾性・高強度ガラスファイバー「MAGNAVI®」を新開発
- 東証プライム市場への移行決定済み

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書（四半期別）
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 四半期別セグメント情報
- 地域別業績
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

連結損益計算書

四半期別推移



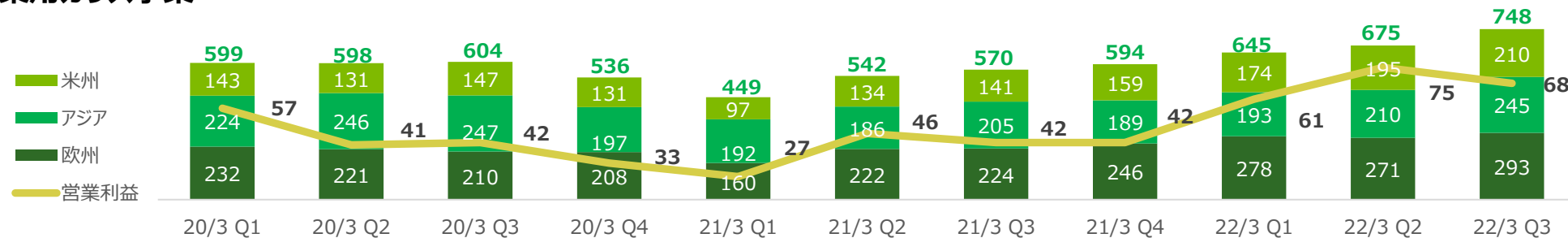
(億円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,471	1,415	1,372	1,304	919	1,296	1,359	1,418	1,477	1,430	1,523
営業利益(△損失)	88	61	31	32	△ 6	38	48	51	72	55	18
営業利益率	6.0%	4.3%	2.3%	2.5%	—	2.9%	3.5%	3.6%	4.9%	3.9%	1.2%
個別開示項目(COVID-19関連)	—	—	—	△ 22	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	—	—	—
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	88	61	31	10	△ 121	25	36	30	72	55	18
個別開示項目(その他)	△ 6	△ 16	△ 22	△ 174	0	△ 8	10	△ 55	△ 2	47	△ 2
個別開示項目後営業利益 (△損失)	82	45	9	△ 164	△ 121	17	46	△ 25	70	102	17
金融費用(純額)	△ 35	△ 28	△ 32	△ 23	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 29	△ 29	△ 32
持分法による投資損益	5	3	4	△ 1	△ 4	2	10	13	14	19	22
税引前利益 (△損失)	52	20	△ 19	△ 188	△ 149	△ 11	35	△ 47	55	92	7
当期利益 (△損失)	31	△ 7	△ 5	△ 194	△ 165	△ 7	37	△ 28	28	67	10
純利益 (△損失) *	29	△ 10	△ 7	△ 201	△ 164	△ 9	34	△ 30	25	61	0
EBITDA	175	142	115	118	61	127	135	145	165	146	111

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

事業部門別・地域別売上高及び営業利益 四半期別推移

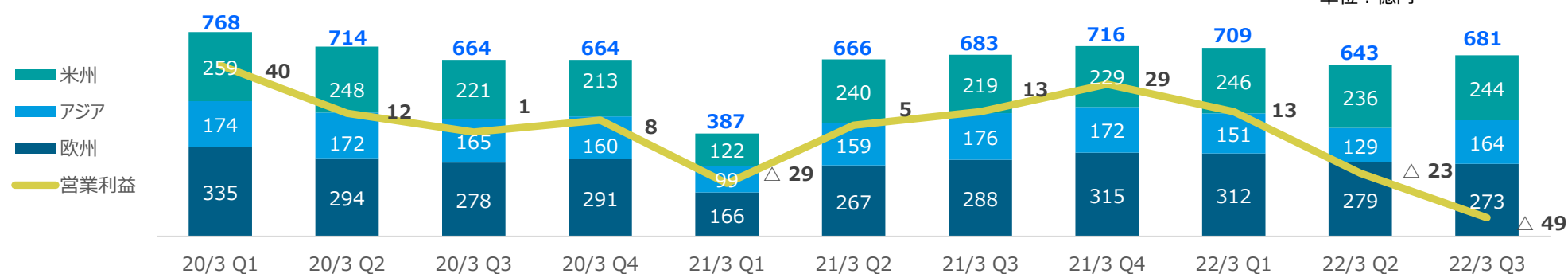
単位：億円

建築用ガラス事業



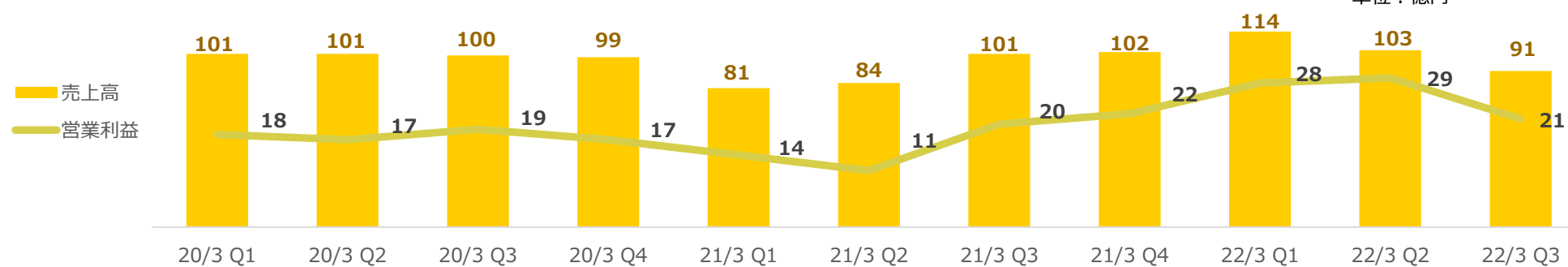
自動車用ガラス事業

単位：億円



高機能ガラス事業

単位：億円



セグメント情報

(億円)	2020年3月期					2021年3月期					2022年3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	536	2,337	449	542	570	594	2,155	645	675	748	2,069
欧州	232	221	210	208	871	160	222	224	246	852	278	271	293	842
アジア	224	246	247	197	914	192	186	205	189	772	193	210	245	647
米州	143	131	147	131	552	97	134	141	159	531	174	194	210	579
営業利益	57	41	42	33	173	27	46	42	42	157	61	75	68	204
COVID後営業利益*	-	-	-	27	167	△ 22	41	38	34	91	-	-	-	-
売上高:自動車用ガラス	768	714	664	664	2,810	387	666	683	716	2,452	709	643	681	2,033
欧州	335	294	278	291	1,198	166	267	288	315	1,036	312	279	273	864
アジア	174	172	165	160	671	99	159	176	172	606	151	129	164	444
米州	259	248	221	213	941	122	240	219	229	810	246	236	244	725
営業利益	40	12	1	8	61	△ 29	5	13	29	18	13	△ 23	△ 49	△ 59
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 6	47	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-	-	-	-
売上高:高機能ガラス	101	101	100	99	401	81	84	101	102	368	114	103	91	308
欧州	17	18	16	20	71	13	14	19	18	64	21	18	20	59
アジア	80	79	81	77	317	65	68	79	81	293	90	82	68	240
米州	4	4	3	2	13	3	2	3	3	11	3	3	3	9
営業利益	18	17	19	17	71	14	11	20	22	67	28	29	21	78
COVID後営業利益*	-	-	-	16	70	12	10	21	22	65	-	-	-	-
売上高:その他	3	2	4	5	14	2	4	5	6	17	9	8	3	20
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 26	△ 93	△ 18	△ 24	△ 27	△ 42	△ 111	△ 31	△ 25	△ 22	△ 77
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 27	△ 94	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-	-	-	-
売上高:合計	1,471	1,415	1,372	1,304	5,562	919	1,296	1,359	1,418	4,992	1,477	1,430	1,523	4,430
営業利益	88	61	31	32	212	△ 6	38	48	51	131	72	55	18	145
COVID後営業利益*	-	-	-	10	190	△ 121	25	36	30	△ 30	-	-	-	-

地域別売上高及び営業利益

(億円)	2021年3月期 4-12月期			2022年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,373	38%	24	1,765	40%	△ 15	392	△ 39
アジア	1,229	34%	83	1,331	30%	157	102	74
米州	961	27%	42	1,314	30%	80	353	38
その他 *	11	0%	△ 69	20	0%	△ 77	10	△ 8
合計	3,574	100%	80	4,430	100%	145	856	65

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2021年3月期 4-12月期	2022年3月期 4-12月期
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連*	△ 140	-
政府支援による収益	23	-
設備休止等に係る費用	△ 163	-
リストラクチャリング費用	△ 40	△ 1
事業の譲渡による利益	-	44
係争案件の解決に係る収益	34	-
子会社及びジョイントベンチャーの売却による利益	7	-
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連 政府支援による収益	-	4
その他	1	△ 3
個別開示項目 純額	△ 138	44

* 2021/3期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。

為替レート

期中平均レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	141	137	138	138	133	135	136	139	153	152	153
ユーロ	124	121	121	121	118	121	123	124	132	131	131
米ドル	109	109	109	109	107	106	106	106	109	109	112
ブラジル・リアル	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6	20.8	20.7
アルゼンチン・ペソ	4.70	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用									

期末レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	137	133	144	133	132	135	141	152	153	150	156
ユーロ	123	118	122	119	121	124	127	130	132	129	131
米ドル	108	108	109	108	107	105	103	111	111	112	116
ブラジル・リアル	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3	20.6	20.4
アルゼンチン・ペソ	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16	1.13	1.12

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2021年 3月期
資本	31.0億円の減少
当期損失	1.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2021年3月期 4-12月期	2022年3月期 4-12月期	2022年3月期 見通し
減価償却費	263	277	350
資本的支出	256	153	290
通常投資	97	134	
戦略投資、他	159	19	
研究開発費	66	61	90
建築用ガラス事業	18	18	
自動車用ガラス事業	18	18	
高機能ガラス事業	7	7	
その他	23	18	

NSG

GROUP